

# JOWA

## 常和ホールディングス株式会社

Jowa Holdings Company, Limited



2012年3月期 第3四半期連結決算の概要

2012年2月3日

東証一部 3258

# 第3四半期累計連結業績('11/4~12月)

## 第3四半期累計は順調な仕上がり、通期予想に変更なし

売上高△9.7%(対前年同四半期累計比)、営業利益△5.7%(同)、  
 経常利益△4.9%(同)、四半期純利益△54.2%(同)。  
 営業利益率33.6%と高水準を維持。  
 通期業績予想に対して順調に進捗。

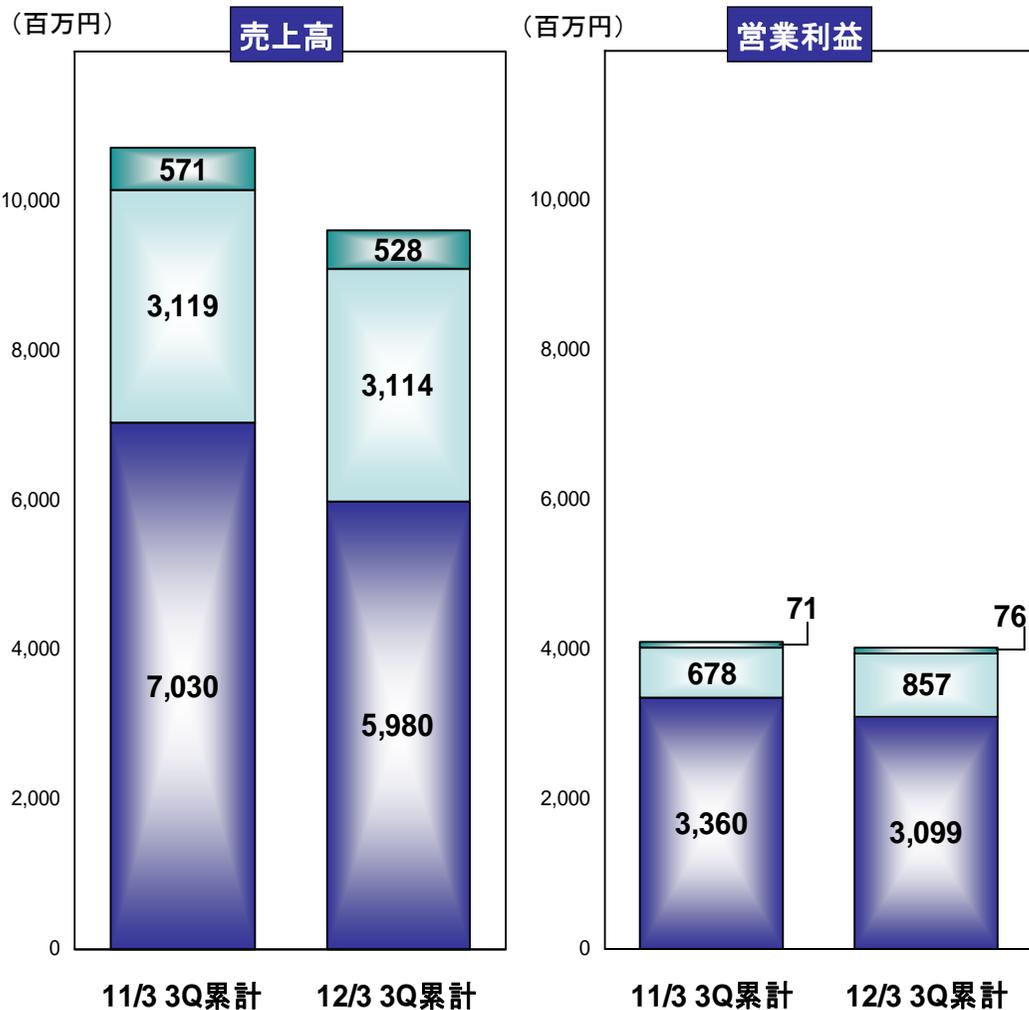
(単位:百万円)

	2012年3月期		2011年3月期 第3四半期累計 実績(b)	2012年3月期 通期 業績予想(c)※	対業績予想 進捗率 (a)/(c)
	第3四半期累計 実績(a)	前年同四半期比 (a) - (b)			
売上高	9,517	△ 1,025	10,543	13,000	73.2%
営業利益	3,201	△ 193	3,394	4,300	74.4%
経常利益	2,089	△ 107	2,196	2,600	80.4%
四半期純利益	1,176	△ 1,391	2,567	1,500	78.4%

※ 2011年5月10日 公表

# セグメント別情報

## 不動産事業は減収減益、ホテル事業、ゴルフ事業は増益



### 不動産事業

コスト削減等に努めるも、物件売却による賃料の剥落、一部テナントの賃料低下、前期の宅地売却の剥落等により減収(対前年同四半期比 $\Delta$ 14.9%)、減益(同 $\Delta$ 7.8%)。

首都圏オフィスビルの空室率 2.8%(11/12末現在)\*。

\*事務所に付設した倉庫も含めたベース(同ベースでの11/3末実績 3.5%)

### ホテル事業

東日本大震災の影響を受け、事業環境が厳しい中、売上高を確保(同 $\Delta$ 0.1%)。ホテルユニゾ渋谷の新規開業費用の剥落及びコスト削減効果により増益(同+26.3%)。

### ゴルフ事業

東日本大震災の影響により来場者数が減少し減収(同 $\Delta$ 7.5%)となるも、コスト削減等に努め、増益(同+6.4%)。

注)今年度第1四半期より報告セグメントを変更しており、前第3四半期累計実績及びそれとの比較・分析につきましては、今次変更後の影響を含めて記載しております。

# 営業外損益、特別損益

(単位:百万円)

	2012年3月期		2011年3月期	要因
	第3四半期累計実績(a)	前年同四半期比(a) - (b)	第3四半期累計実績(b)	
売上高	9,517	△ 1,025	10,543	
営業利益	3,201	△ 193	3,394	
営業外損益	△ 1,111	+ 85	△ 1,197	支払利息の減少等。
経常利益	2,089	△ 107	2,196	
特別損益	△ 64	△ 2,312	2,248	前年同四半期の固定資産売却益の剥落、及び本社移転損失等。
四半期純利益	1,176	△ 1,391	2,567	

# 連結財政状態－資産

(単位:百万円)

	2011年3月期末	2012年3月期	増減額 (a) - (b)	要因
	(b)	第3四半期末 (a)		
現預金	5,039	2,163	△2,875	資金の効率化。
受取手形及び売掛金	2,356	544	△1,812	子会社合併に伴う売掛金の減少。
販売用不動産	758	2,304	+1,545	住宅分譲用地の取得。
流動資産合計	8,492	5,518	△2,974	
有形固定資産	110,024	132,310	+22,285	オフィスビル取得等。
投資有価証券	12,560	12,940	+380	株式の取得等。
固定資産合計	127,545	150,067	+22,522	
資産合計	136,038	155,586	+19,548	

# 連結財政状態－負債・純資産

(単位:百万円)

	2011年3月期末	2012年3月期	増減額 (a) - (b)	要因
	(b)	第3四半期末 (a)		
有利子負債	106,022	125,322	+19,299	
負債合計	118,405	137,703	+19,297	
資本金	3,350	3,350	-	
資本剰余金	3,266	3,266	-	
利益剰余金	9,939	10,473	+533	四半期純利益1,176百万円、配当支払額642百万円。
その他の包括利益累計額	1,075	792	△282	
純資産合計	17,632	17,882	+250	
負債純資産合計	136,038	155,586	+19,548	
自己資本比率	13.0%	11.5%	△1.5 <sub>1</sub>	

# 株主還元(配当)について

1. 基本方針 「安定配当」と「自己資本の充実」の二つをバランスよく実施

2. 2012年3月期配当は中間30円を実施、期末30円を予想

1株当たり配当金(円)	中間	期末(予想)	年間(予想)
2012年3月期	30	30	60

## 配当金の推移(円)

2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 予想
40	50	60	60

# 株主優待制度の拡充について

現行の株主優待制度をさらに充実

2012年3月31日現在の株主名簿に記録された株主の方から適用

## 現行

1単元以上保有されている株主の方に一律

- ①UCギフトカード3,000円相当
- ②ホテル・ゴルフ場の共通株主優待券5枚

## 拡充後

1単元以上10単元未満の株主の方

- ①UCギフトカード3,000円相当
- ②ホテル・ゴルフ場の共通株主優待券5枚

10単元以上保有の株主の方

- ①UCギフトカード**5,000円相当**
- ②ホテル・ゴルフ場の共通株主優待券5枚
- ③ホテル・ゴルフ場の共通**プレミア優待券1枚**

共通株主優待券

当社グループが運営する「ホテルユニゾチェーン各ホテル」、「ホテルクレガ天神(福岡)」の正規客室料金の50%割引、または、「八千代ゴルフクラブ(千葉)」の平日3,000円割引

共通プレミア優待券

当社グループが運営する「ホテルユニゾチェーン各ホテル」、「ホテルクレガ天神(福岡)」の客室料金**1泊1室無料**、または、「八千代ゴルフクラブ(千葉)」の**全日1名1ラウンド無料**

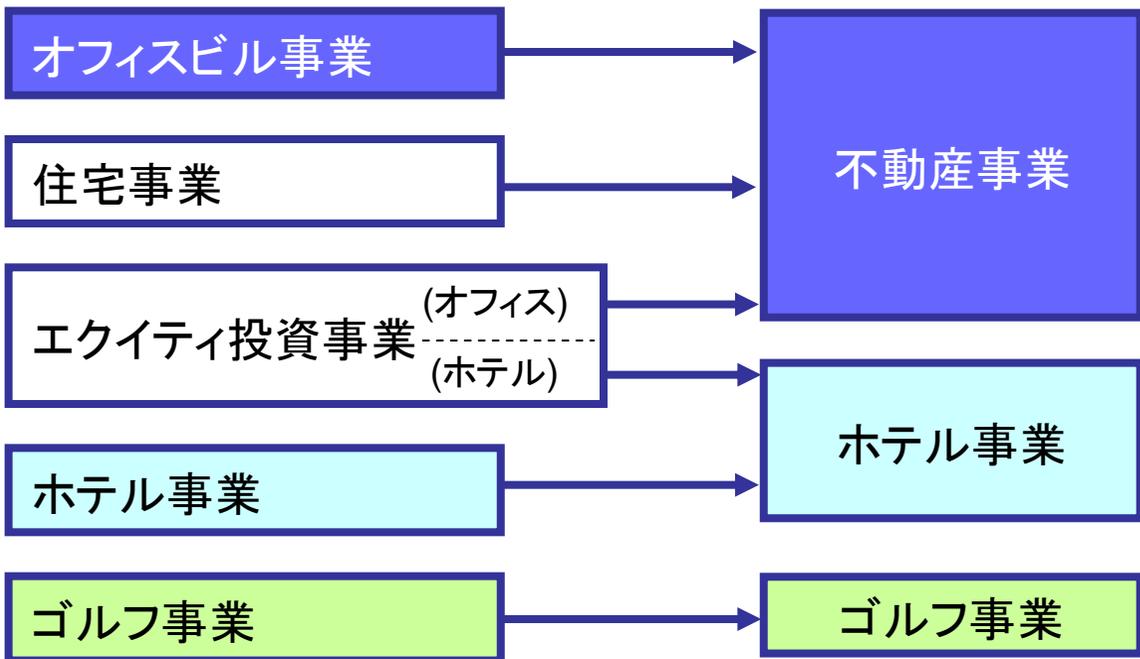
※ 詳細は平成23年11月4日付「株主優待制度の拡充に関するお知らせ」をご参照ください。

- 2012年3月期 第1四半期より、下記報告セグメントの変更を実施。
- 2011年10月1日、主要3事業毎に1社の子会社を置く体制へ集約。  
当社グループの事業戦略に則り、一層適切かつ有用な情報を提供できるものと判断。

## 【旧セグメント】

## 【新セグメント】

## 背景・目的

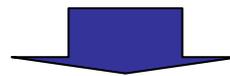


2011/4 組織再編、執行役員制度導入

- ①各組織の権限と責任をより一層明確化
- ②事業本部制を敷き、子会社各社とのコミュニケーションを促進し、経営判断をより迅速化
- ③経営と執行の分離によるガバナンスの強化、役員の権限と責任の明確化

2011/10 グループ子会社再編

子会社を1事業1社に集約し、経営管理の効率化と、グループ経営判断の一層の迅速化を図る。



一層の収益、企業価値の向上

# Disclaimer

## 本資料の取り扱いについて

本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。